

理科のつよみを
カタチに
はずむ。

特定非営利活動法人あなたのくうかんおおいた

理科フリースクール マイム

循環型人材育成構想

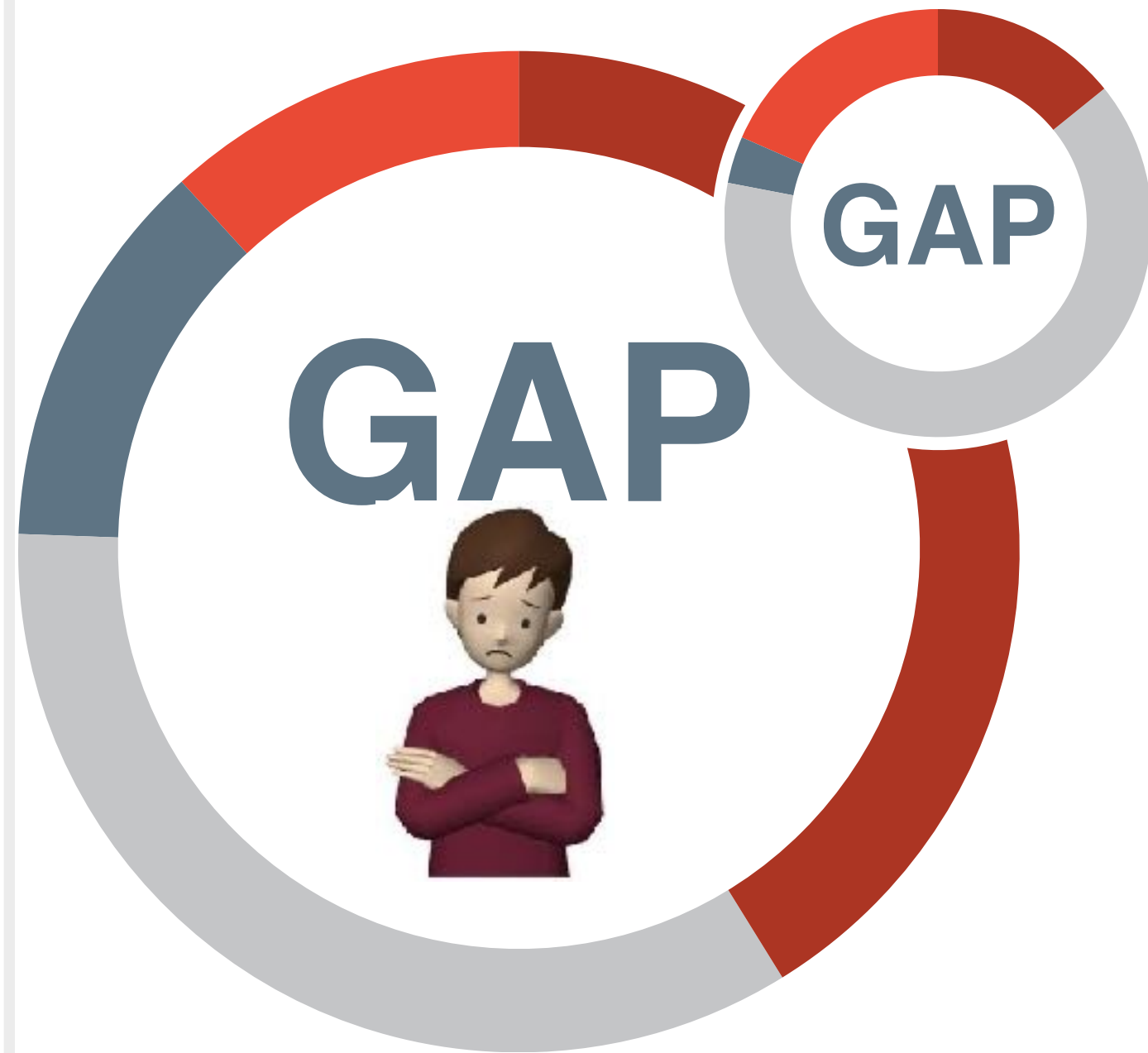
理科フリースクールマイム 事業計画

By Rika Free School Mayim Working TEAM

教育制度の破れ口

登校数と不登校傾向数の推移

	不登校	傾向
小学生	323人	4,849人
中学生	692人	1,967人



児童・生徒数の推移(人) *1						大分市 不登校数				大分市 不登校傾向数		
小学校	児童数	計	男	女		小学校	中学校	高等学校		小学校	中学校	高等学校
平成26年度	平成26年5月	26,974	13,884	13,090								
平成27年度	平成27年5月	27,028	13,865	13,163	正確	148	493		推定	2,221	1,401	
平成28年度	平成28年5月	26,903	13,711	13,192	推定	137	529		〃	2,061	1,503	
平成29年度	平成29年5月	26,395	13,372	13,023	正確	204	530	*3	〃	3,062	1,506	
平成30年度	平成30年5月	26,370	13,371	12,999	〃	253	626	*3	日本財団	3,797	1,778	
令和元年度	令和元年5月	26,227	13,328	12,899	推定	323	692		推定	4,849	1,967	
令和2年度	令和2年5月				〃				〃			
中学校	生徒数	計	男	女		小学校	中学校	高等学校		小学校	中学校	高等学校
平成26年度	平成26年5月	14,229	7,208	7,021								
平成27年度	平成27年5月	14,107	7,201	6,906	正確	0.55%	3.56%		推定	8.2%	10.1%	
平成28年度	平成28年5月	14,053	7,201	6,852	推定	0.51%	3.86%		〃	7.7%	11.0%	
平成29年度	平成29年5月	13,324	6,909	6,415	正確	0.77%	3.96%		〃	11.6%	11.3%	
平成30年度	平成30年5月	13,142	6,754	6,388	〃	0.96%	4.68%		日本財団	14.4%	13.3%	*2
令和元年度	令和元年5月	13,104	6,663	6,441	推定	1.23%	5.19%		推定	18.5%	14.8%	
令和2年度	令和2年5月				〃				〃			

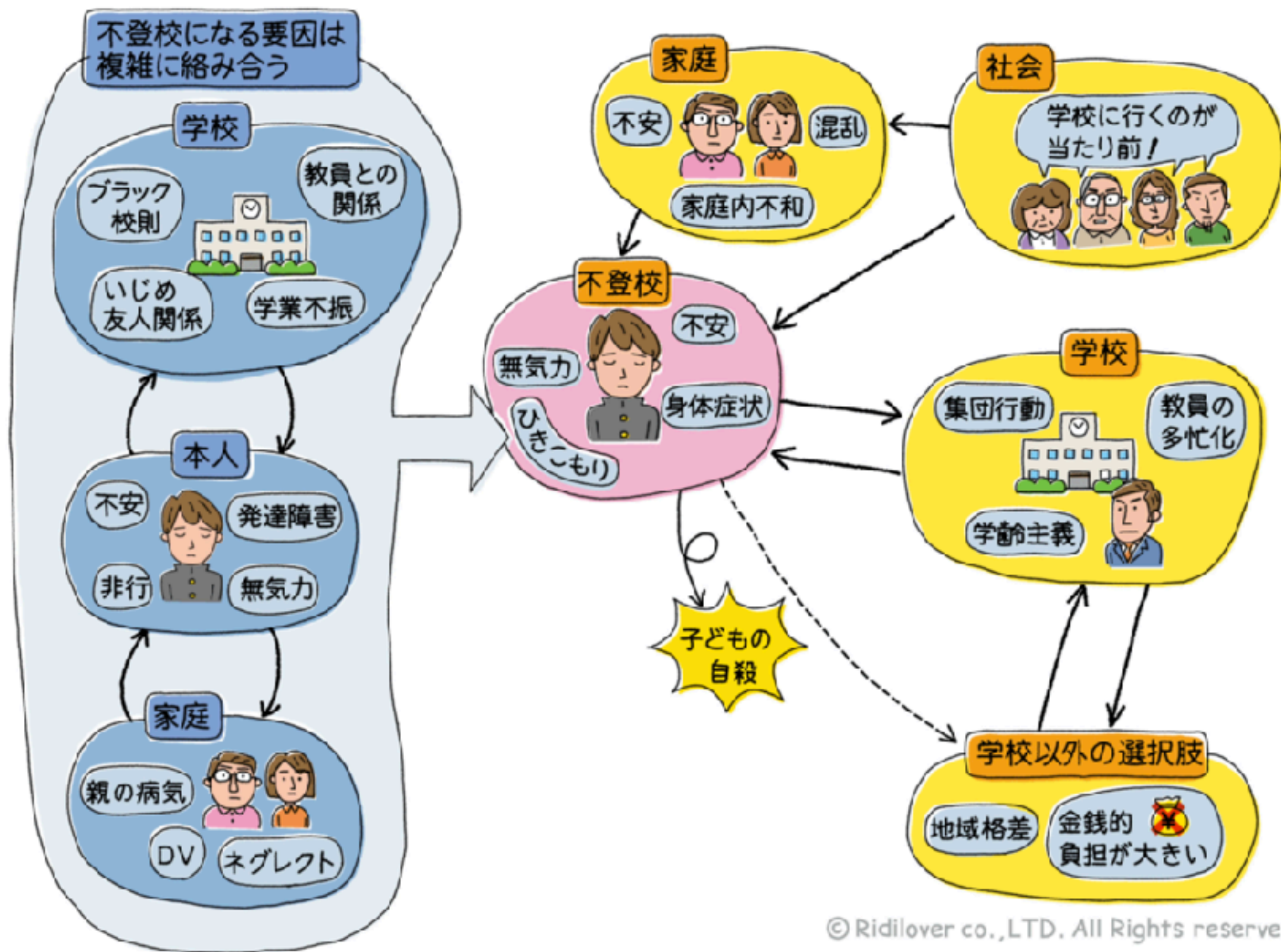
*1 文部科学省学校基本調査（平成28～令和元年度）

*2 不登校傾向にある子どもの実態調査，日本財団（2018）

*3 令和元年第7回大分市教育委員会会議録 <http://www.city.oita.oita.jp/o188/kosodate/inkai/documents/r1dai7kaikaigiroku.pdf>

不登校の要因

複雑に絡み合う



(2) 不登校の要因
【小学校】

(単位：人)

	年度	不登校児童数	学校に係る状況								家庭に係る状況			本人に係る状況		左記に該当なし
			いじめ	友人関係を除く	いじめを除く	教員との関係	学業不振	進路に係る不安	部活動への不参加	クラブ活動の不参加	学校生活のつまらなさ	入学適応、学年進級、転校の不安	家庭の急激な生活変遷	親子の関わり	家庭内の不和	
児童数	H30	437	1	95	19	52	2	3	6	12	226					76
	R1	558	4	57	12	23	2	1	3	12	17	92	10	66	217	42
											119			283		
児童数に占める状況の割合	H30	-	0.2%	21.7%	4.3%	11.9%	0.5%	0.7%	1.4%	2.7%	51.7%					17.4%
	R1	-	0.7%	10.2%	2.2%	4.1%	0.4%	0.2%	0.5%	2.2%	21.3%			50.7%		7.5%

【中学校】

(単位：人)

	年度	不登校生徒数	学校に係る状況								家庭に係る状況			本人に係る状況		左記に該当なし
			いじめ	友人関係を除く	いじめを除く	教員との関係	学業不振	進路に係る不安	部活動への不参加	クラブ活動の不参加	学校生活のつまらなさ	入学適応、学年進級、転校の不安	家庭の急激な生活変遷	親子の関わり	家庭内の不和	
生徒数	H30	1162	9	330	25	407	97	14	23	52	375					141
	R1	1285	5	226	17	120	32	10	5	45	41	46	20	91	525	102
											107			616		
生徒数に占める状況の割合	H30	-	0.8%	28.4%	2.2%	35.0%	8.3%	1.2%	2.0%	4.5%	32.3%					12.1%
	R1	-	0.4%	17.6%	1.3%	9.3%	2.5%	0.8%	0.4%	3.5%	8.3%			47.9%		8.0%

© Ridilover co.,LTD. All Rights reserved. 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について

文部科学省「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査から不登校の要因が分類されている。

+

<p>A 「学校生活上の影響」の型</p> <p>いやがらせをする子どもの存在や、教職員との人間関係等、明らかにそれと理解できる学校生活上の影響から登校しない（できない）型。</p>	<p>B 「あそび・非行」型</p> <p>遊ぶためや非行グループに入ったりして登校しない型。</p>	<p>C 「無気力」型</p> <p>無気力でなんとなく登校しない。登校しないことへの罪悪感が少なく、迎えにいたり強く催促したりすると登校するが、長続きしない型。</p>
<p>D 「不安など情緒的混乱」の型</p> <p>登校の意思はあるが身体の不調を訴え登校できない、漠然とした不安を訴え登校しない等、不安を中心とした情緒的混乱によって登校しない（できない）型。</p>	<p>E 「意図的な拒否」の型</p> <p>学校に行く意義を認めず、自分の好きな方向を選んで登校しない型。</p>	<p>F 「複合」型</p> <p>不登校状態が継続している理由が複合していて、いずれが主であるかを決めがたい型。</p>

A 「学校生活上の影響」の型

安心できる居場所づくり

E 「意図的な拒否」の型

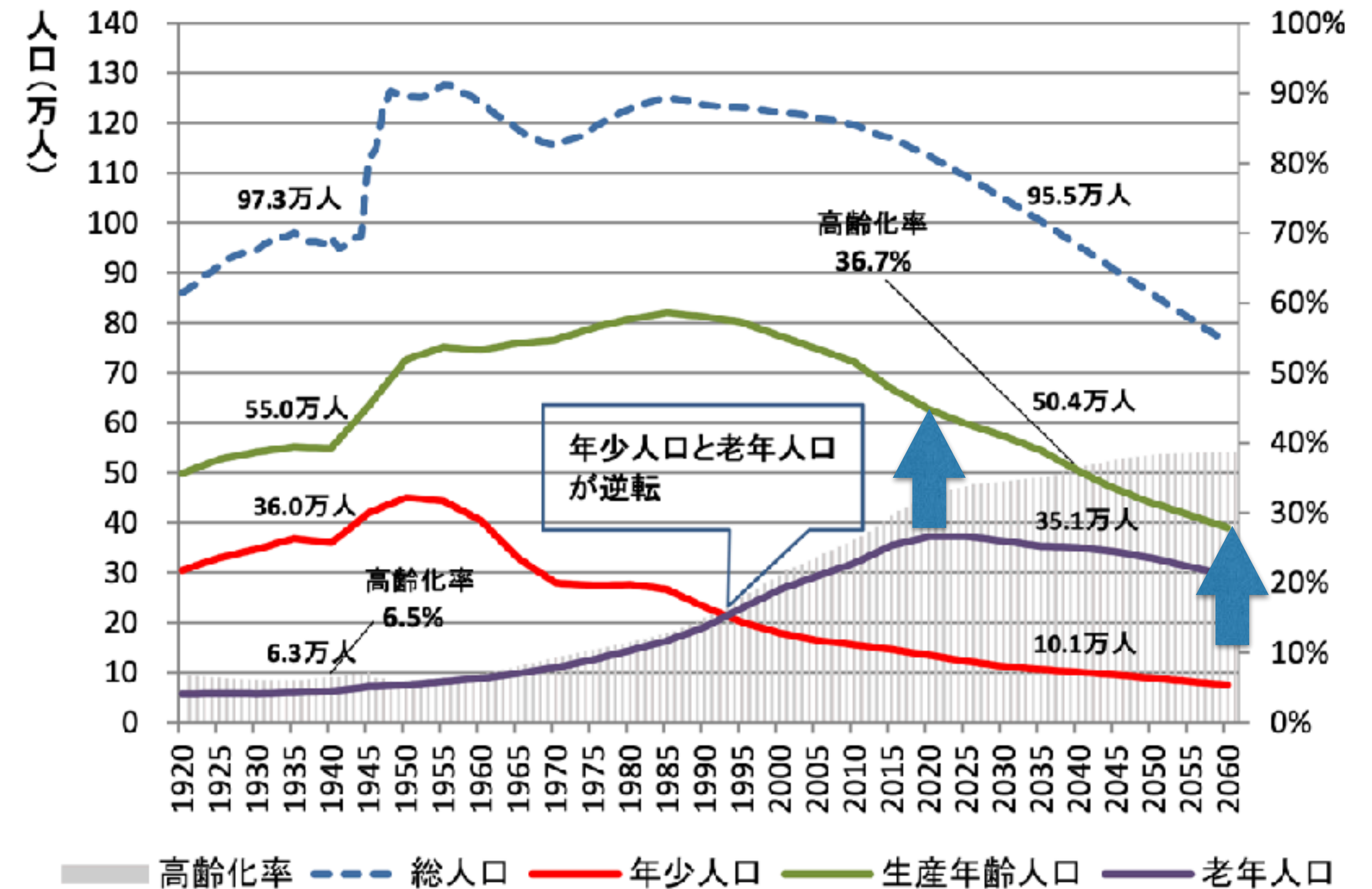
好きな勉強への関心

大分県の将来

生産年齢人口の減少

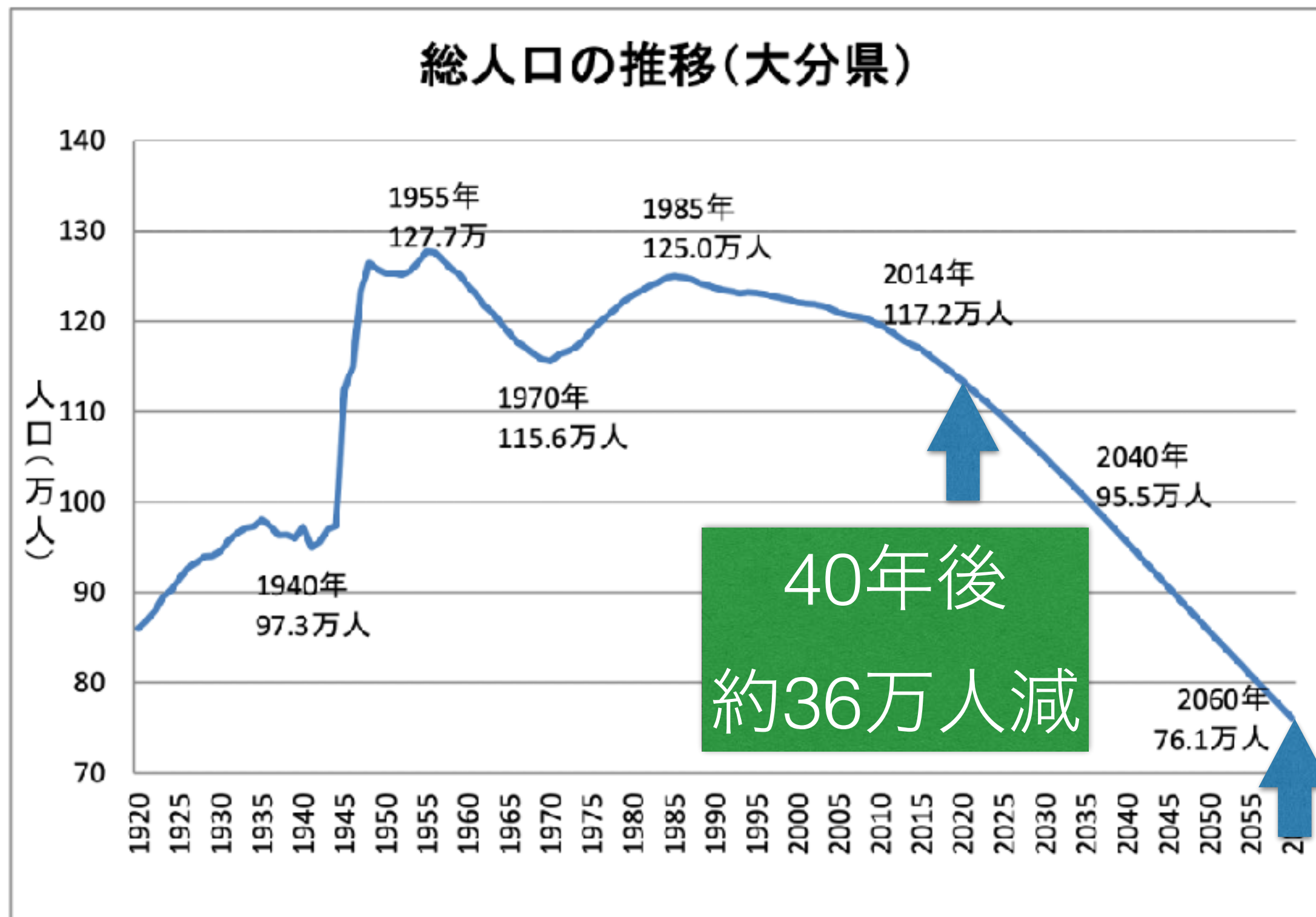
今から40年後まで
不登校総数 約1.5万人

年齢3区分別人口の推移(大分県)



40年後 生産年齢人口
約22万人減

総人口の推移(大分県)



※2045年以降は国立社会保障・人口問題研究所の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)における2040年時点の自然増減・社会増減の仮定値を用いて試算

※2045年以降は国立社会保障・人口問題研究所の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)において試算

不登校から就業へ 経済効果

1 平成30年度大分県経済の概況

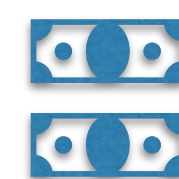
	大分県	国
県(国)内総生産(名目)	4兆6,143億円	548兆3,670億円
経済成長率 名目	+2.7%	+0.1%
実質(連鎖方式)	+2.8%	+0.3%
一人当たり県(国)民所得	2,714千円	3,198千円
同上前年度比増減率	+1.0%	+1.1%
同上県/国格差	84.9 (前年度と同率)	100

(注) 県(国)内総生産(名目)及び経済成長率は、県は生産側、国は支出側の数値

今から40年後まで
不登校総数 約1.5万人

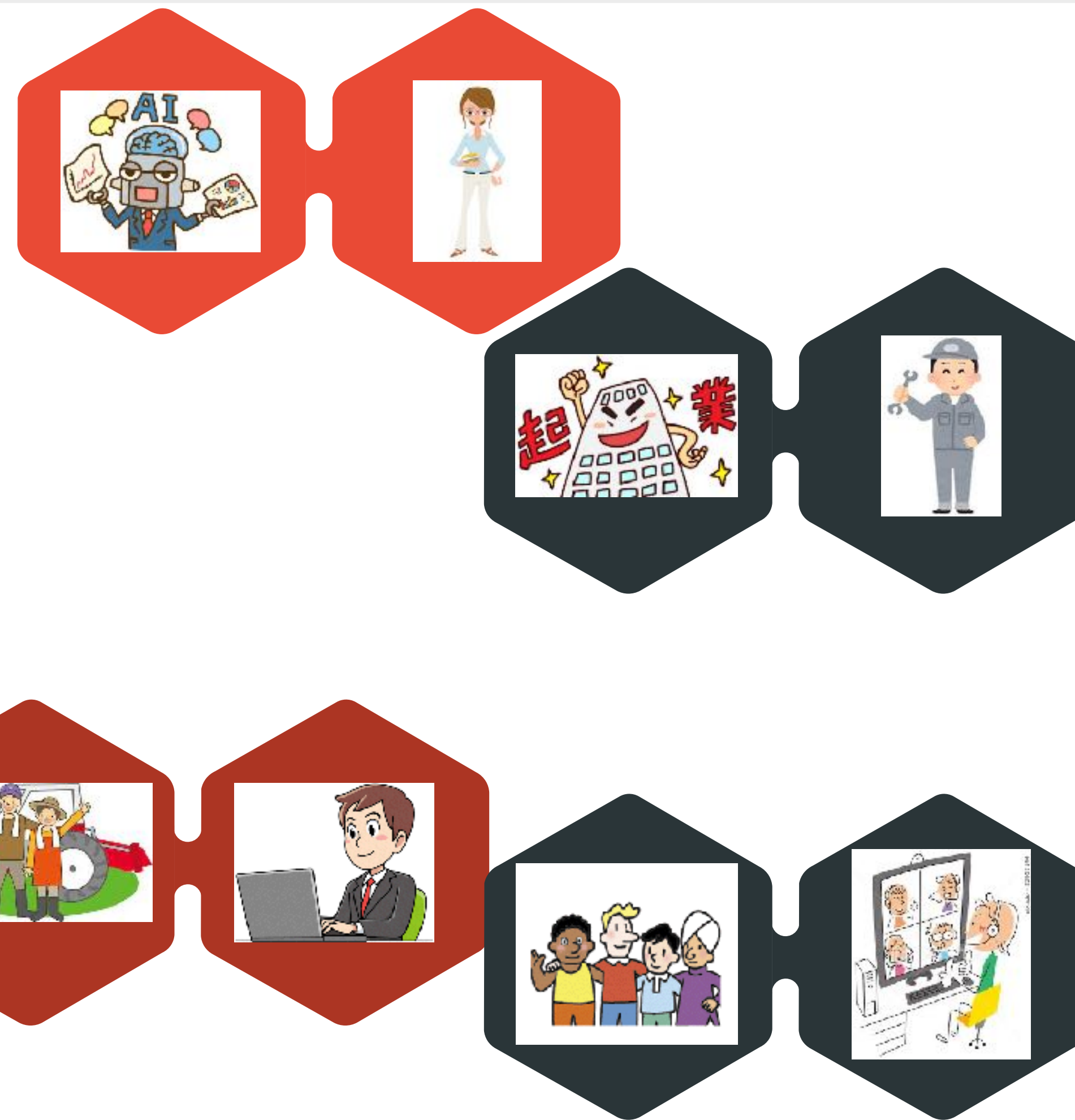


2,714千円



845億円

注意：厳密な計算ではありません



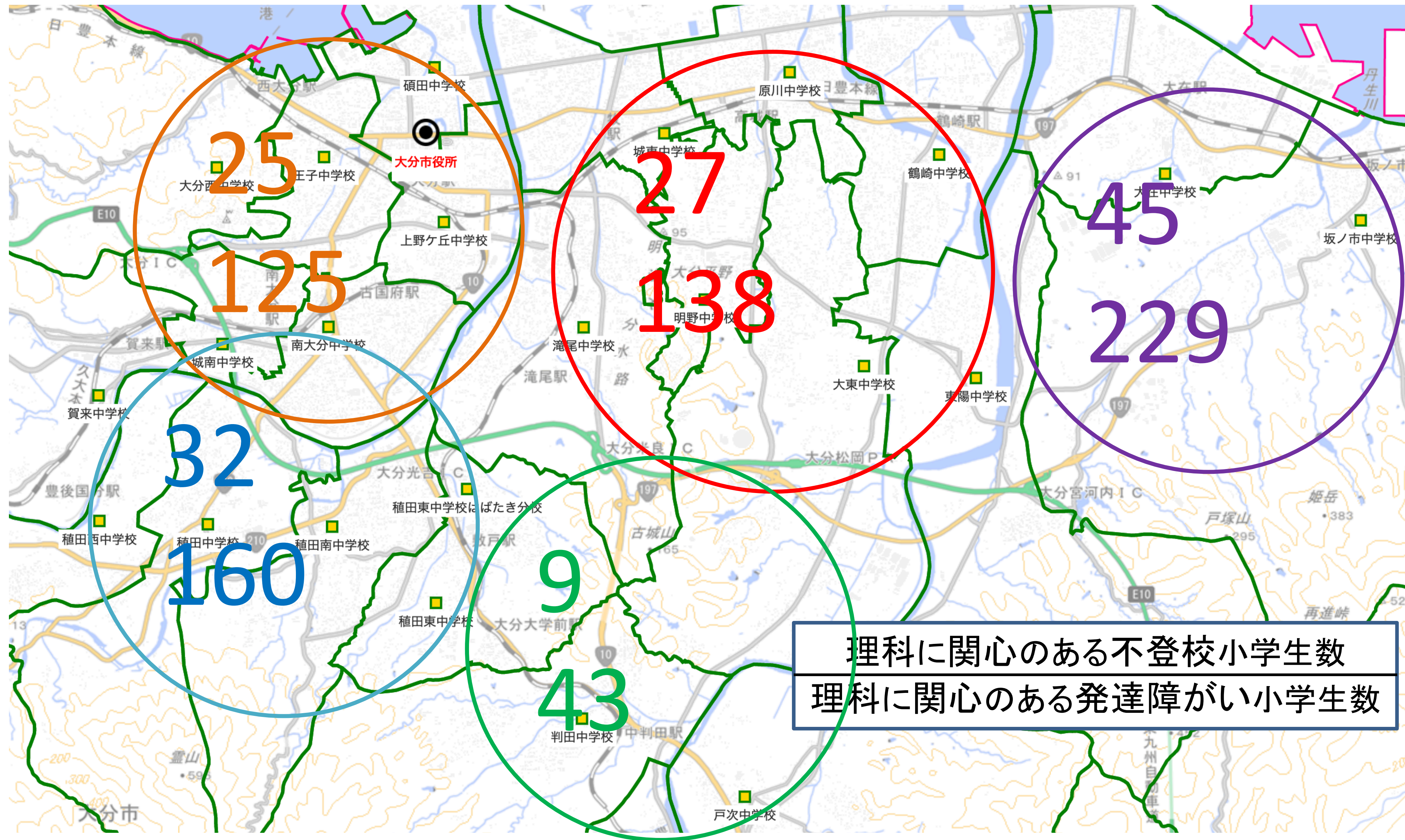
理科に関心がある不登校等の小学生

地区	番号	学校名	児童数	地区	不登校児童 (推定値)	理科に関心のある 児童(推定値)		通常学級で発達障 がいの可能性のあ る児童(推定値)	理科に関心のある 児童(推定値)		理科不 登校	理科発 達	放り数
						男子	女子		男子	女子			
大分 中心	1	金池	798	4,629	177	19	6	710	115	10	25	125	8
	2	長浜	283										
	3	春日町	652										
	4	大道	460										
	5	西の台	975										
	10	八幡	156										
	11	神崎	39										
大分 西南	6	南大分	718	1,562	60	6	2	240	39	3			
	7	城南	548										
	8	荏隈	393										
植田	9	豊府	951	4,379	167	18	6	672	109	10	32	160	12
	14	森岡	218										
	36	東植田	562										
	37	植田	510										
	38	賀来	632										
	39	敷戸	301										
	40	敷戸小学校は	10										
	41	鷺野	273										
	42	宗方	496										
	43	横瀬	353										
44	横瀬西	190											
45	寒田	609											
46	田尻	443											
大南	31	戸次	366	1,420	54	6	2	218	35	3	9	43	18
	32	上戸次	50										
	33	吉野	223										
	34	竹中	40										
	35	判田	741										

地区	番号	学校名	児童数	地区	不登校児童 (推定値)	理科に関心のある 児童(推定値)		通常学級で発達障 がいの可能性のあ る児童(推定値)	理科に関心のある 児童(推定値)		理科不 登校	理科発 達	放り数											
						男子	女子		男子	女子														
野津 原	54	野津原東部	132	184	7	1	0	28	5	0														
	55	野津原中部	41																					
	56	野津原西部	11																					
明野・ 下郡	12	滝尾	739	3,043	116	12	4	467	76	7	27	138	16											
	13	下郡	889																					
	20	明野西	484																					
	21	明野東	341																					
	22	明野北	590																					
大分 東北	15	東大分	461	2,086	80	9	3	320	52	5														
	16	日岡	431																					
	17	桃園	475																					
	18	津留	444																					
	19	舞鶴	275																					
鶴崎	23	三佐	250	4,928	188	20	6	756	122	11	45	229	22											
	24	鶴崎	322																					
	25	別保	1045																					
	26	明治	1053																					
	27	明治北	651																					
	28	高田	422																					
	29	川添	154																					
	30	松岡	1031																					
	大在・ 坂ノ市	47	大在											973	3,304	126	13	4	507	82	7			
		48	大在西											978										
49		丹生	171																					
50		小佐井	402																					
51		坂ノ市	780																					
佐賀 関	52	こうざき	146	236	9	1	0	36	6	1														
	53	佐賀関	90																					
合計				25,771	984	105	33	3,953	640	56														

「国立青少年教育振興機構 高校生の科学等に関する意識調査(平成26年8月)」報告書から小学校の推定をした。

*1	男子	女子	*2	男子	女子
	20,000	18,000			
	0.53	0.47		0.797	0.203

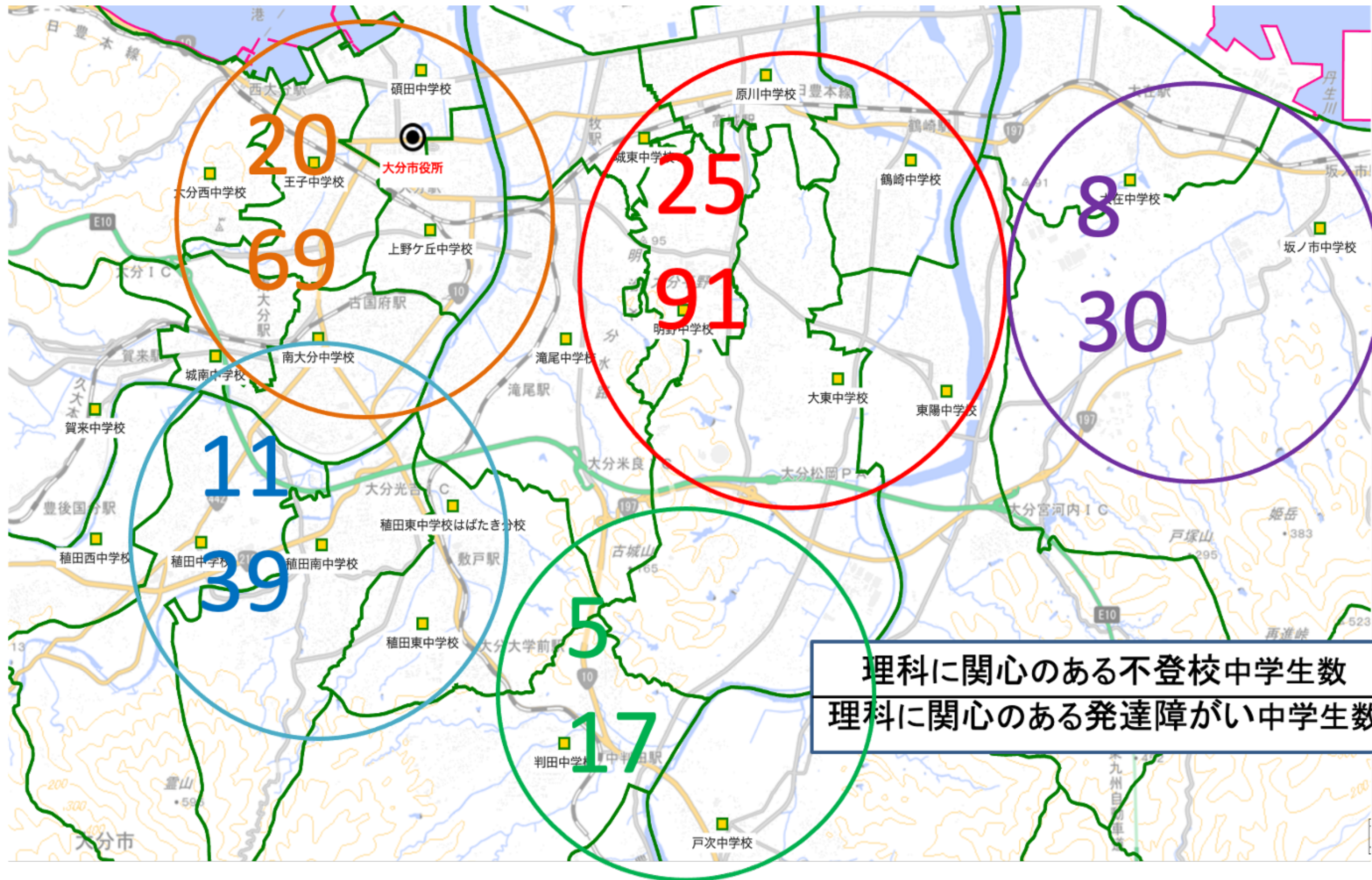


理科に関心のある不登校小学生数
 理科に関心のある発達障がい小学生数

理科に関心がある不登校等の中学生

地区	番号	学校名	生徒数	地区	不登校生徒 (推定値)	理科に関心のある 生徒(推定値)		通常学級で発達障 がいの可能性のあ る生徒(推定値)	理科に関心のある 生徒(推定値)		理科不登校	理科発達	放子数	
						男子	女子		男子	女子				
						大分 中心	1		上野ヶ丘	493				2,066
2	王子	547												
29	碩田学園	1026												
大分 南西	3	大分西	434	1,608	61	7	2	175	28	2	25	91	16	
	4	南大分	781											
	5	城南	393											
大分 東北	6	滝尾	932	1,977	75	8	3	216	35	3	8	30	22	
	7	城東	631											
	8	原川	414											
明野・ 鶴崎	9	明野	694	2,759	105	11	3	301	49	4	5	17	18	
	10	鶴崎	680											
	11	大東	1012											
	12	東陽	373											
大在・ 坂ノ 市・佐 賀関	24	大在	850	1,553	59	6	2	169	27	2	11	39	8	
	25	坂ノ市	558											
	26	神崎	88											
	27	佐賀関	57											
大南・ 野津 原	13	戸次	248	869	33	4	1	95	15	1	18	8	8	
	14	吉野	124											
	15	竹中	25											
	16	竹中中学校二	13											
	17	判田	391											
	28	野津原	68											
植田	18	植田	428	2,046	78	8	3	223	36	3	11	39	8	
	19	植田東	490											
	20	植田東中学校	7											
	21	植田西	246											
	22	植田南	578											
	23	賀来	297											
	合計													12,878
						*1	男子 20,000 0.53	女子 18,000 0.47	*2	男子 0.797	女子 0.203			

「国立青少年教育振興機構 高校生の科学等に関する意識調査(平成26年8月)」報告書から小学校の推定をした。



理科に関心のある不登校中学生数
 理科に関心のある発達障がい中学生数

OITA

FREE STYLE

INNOVATION

T : Targeting(ターゲティング)

市場カバレッジ戦略

1.無差別型マーケティング (フルカバレッジ)	市場セグメント間の違いを無視して、共通の製品・サービスを提供します。全ての商品を全ての市場に投入するフルカバレッジは経営資源が豊富な大企業向けの戦略です。	
2.差別型マーケティング	複数の市場セグメントを取り上げ、それぞれの市場セグメントに対して異なる製品・サービスを提供します。(各自動車メーカーの小型車から大型車の生産販売など)	
3.集中型マーケティング	1つもしくは少数の市場セグメントに注目し、そのセグメントに経営資源を集中していきます。強力なブランドが確立されている製品を持つ企業は、その製品を武器に様々な市場に切り込んでいくことが可能になります。	安心できる居場所 理科が好きな子ども

P : Positioning(ポジショニング)

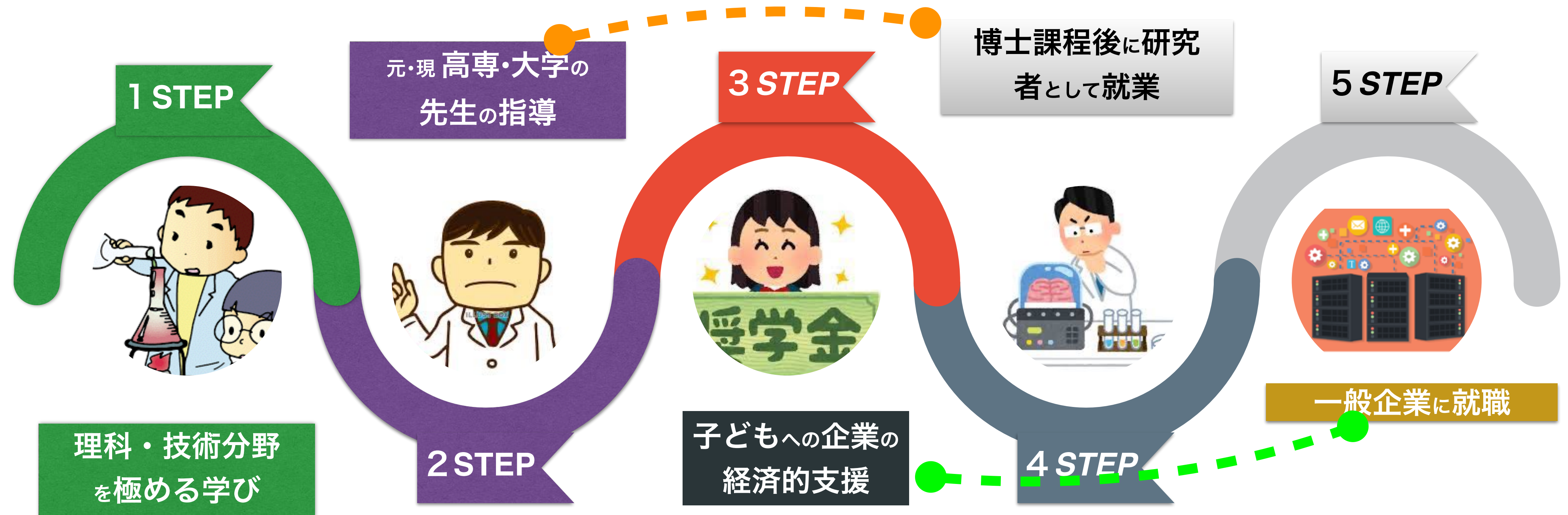
ポジショニングの手順：

1 商品・サービスカテゴリの設定	市場セグメント間の違いを無視して、共通の製品・サービスを提供します。全ての商品を全ての市場に投入するフルカバレッジは経営資源が豊富な大企業向けの戦略です。	
2 価値軸の創造	複数の市場セグメントを取り上げ、それぞれの市場セグメントに対して異なる製品・サービスを提供します。(各自動車メーカーの小型車から大型車の生産販売など)	
3 ポジショニングマップの作成	1つもしくは少数の市場セグメントに注目し、そのセグメントに経営資源を集中していきます。強力なブランドが確立されている製品を持つ企業は、その製品を武器に様々な市場に切り込んでいくことが可能になります。	○明野・鶴崎地区 理科が好き ○不登校 小学生 27人 中学生 25人 ○中学生を中心に運営, 導入期間として小学校高学年, 継続期間として高校生
4 差別化を見つける		○理科を中心に学習を提供できる人材 ○大分高専の教員や学生ボランティア ○大分大学の理工学部・の学生ボランティア

マイムで実現したい

持続的な循環型人材育成

Sustainable human resource development



マイムの取り組みを サポート & 発展

Multi-activities are supported and extended at Akeno Dormitory

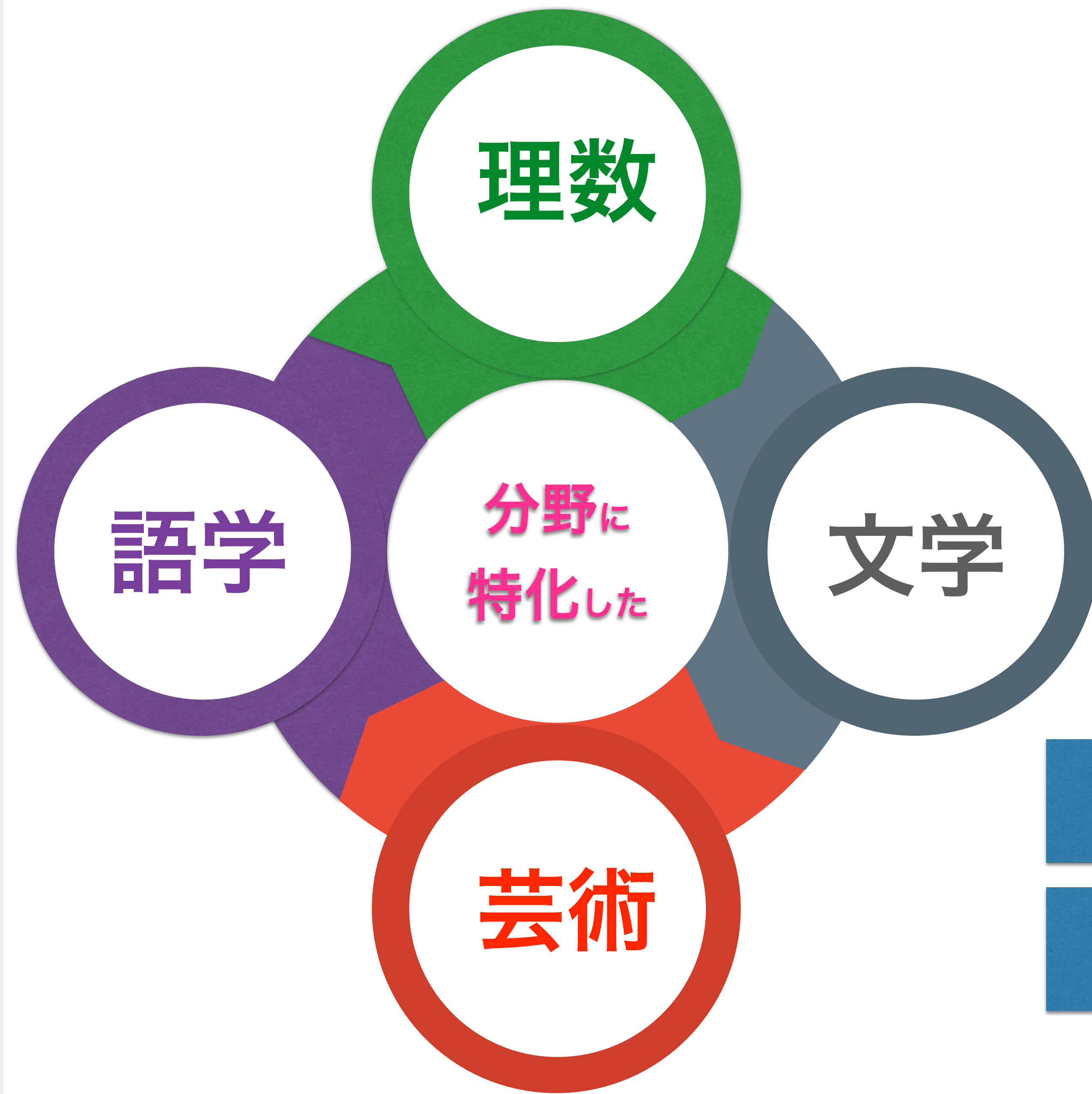


企業



マイム
FREE SCHOOL INNOVATION

不登校で理科に強
みのある児童生徒



あらたな

フリースクールの

カタチがあってもいい

支えるのは企業

教えるのは専門家